



2025 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 E d u L a b
代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 廣 實 学
(コード番号：4427 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 川 瀬 晴 夫
(TEL. 03-6635-3101)

通期連結業績予想と実績の差異及び個別業績の前期実績との差異並びに特別損益等の計上に関するお知らせ

当社は、2025 年 9 月期におきまして、2025 年 5 月 14 日に公表いたしました 2025 年 9 月期（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の通期連結業績予想と実績に差異が生じたこと並びに営業外収益、営業外費用及び特別損失を計上することとなりました。また、2025 年 9 月期（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の個別業績について、前期実績との間に差異が生じたこと並びに営業外収益、特別利益及び特別損失を計上したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 9 月期連結業績予想数値との差異

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,000	百万円 230	百万円 160	百万円 △50	円 銭 △4.89
今回発表実績 (B)	6,229	391	450	16	1.61
増減額 (B-A)	229	161	290	66	
増減率 (%)	3.8%	70.3%	181.3%	—	
(ご参考) 前年実績 (2024 年 9 月期)	7,142	△325	△492	△1,273	△124.61

2. 2024 年 9 月期個別業績と前期実績との差異

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 期 実 績 (A) (2 0 2 4 年 9 月 期)	1,708	584	615	△125	△12 円 23 銭
当 期 実 績 (B) (2 0 2 5 年 9 月 期)	819	△41	38	184	27 円 82 銭
増 減 額 (B - A)	△889	△625	△576	309	
増 減 率 (%)	△52.0%	△107.0%	△93.7%	—	

3. 差異の理由

(1) 連結業績

売上高は、テスト運営・受託事業の全国学力・学習状況調査が直接受注から間接受注になったことから、前年比で減少しましたが、前回予想比では、前期以前から継続していた諸案件に対して 149 百万円を収益認識したこと等により、前回予想を上回りました。

利益面では、中期経営計画で掲げた事業構造改革やコスト構造改革により売上総利益が大幅に増加し、営業利益、経常利益は前期比及び前回予想比で大きく上回り、黒字化を達成しました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、中国子会社清算終了に伴う整理損失費用・減損損失計上等により特別損失 292 百万円を計上したこと、および法人税、非支配株主持分利益（費用）の影響で、16 百万円に留まったものの、前期比及び前回予想を大きく上回り黒字化となり、全ての利益で黒字化を達成しました。

(2) 個別業績

売上高が前期比で 968 百万円減少したことにより、減収減益となりました。これは 2025 年 9 月 30 日の「連結子会社に対する債権放棄に関するお知らせ」で公表いたしました通り、連結子会社である株式会社教育測定研究所の財務体質の改善を図るため、同社への一部の債権放棄を行うこととしたことによるものです。これに伴う会計処理としましては、個別決算上の売上高の減少が発生することとなりました。

4. 営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失の計上

当社は、2025 年 9 月期において、以下の通り、連結業績及び個別業績において、それぞれ営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。

(連結業績)

(1) 営業外収益（為替差益+）の内容

外国為替相場の変動に伴い、当社は、2025 年 9 月期第 4 四半期連結会計期間（2025 年 7 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）に為替差益として 92 百万円計上しております。2025 年 9 月期第 3 四半期連結累計期間（2024 年 10 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）においては、16 百万円の為替差益を計上していたことから、2025 年 9 月期（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）において、76 百万円の為替差益を計上いたしました。これは主として当社で保有する外貨建資産を期末日為替レートで評価替えしたことにより発生したものであります。

(2) 営業外収益（補助金収入）の内容

アイルランドにある当社海外子会社が国からの補助金を 2025 年 8 月 20 日及び 9 月 16 日に受領したため、2025 年 9 月期において、補助金収入として 32 百万円を営業外収益として計上いたしました。

(3) 営業外費用（投資事業組合管理費）の内容

当社海外子会社が運営する投資ファンドの管理費として、2025 年 9 月期において、投資事業組合管理費 65 百万円を営業外費用として計上いたしました。

(4) 特別損失（固定資産の減損損失）の内容

当社が保有する固定資産のうち、主に共用の固定資産グループについて、当該資産から得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回ったことから、2025 年 9 月期において、99 百万円の減損損失を計上いたしました。

(5) 特別損失（訴訟関連費用引当金繰入額）の内容

当社が過年度に係る有価証券報告書等の訂正を行ったことに対し、損害を被ったとして、当社株主らより、当

社に対する損害賠償を求める訴訟を提起されております。当該訴訟については係争中となりますが、投資家保護の観点から、会計上は保守的な処理を行うため、2025 年 9 月期において、訴訟関連費用引当金繰入額 50 百万を特別損失として計上いたしました。

(6) 特別損失（子会社清算損失）の内容

当社海外子会社 Edutech Lab AP Limited の清算決了に伴い、為替換算調整勘定などの取崩しにより、135 百万円を特別損失として計上いたしました。

(個別業績)

(1) 営業外収益（為替差益）の内容

外国為替相場の変動に伴い、当社は、2025 年 9 月期（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）において、44 百万円の為替差益を計上いたしました。これは主として当社で保有する外貨建資産を期末日為替レートで評価替えたことにより発生したものであります。

(2) 特別利益（事業整理損失引当金戻入益）の内容

当社海外子会社 Edutech Lab AP Limited の清算決了に伴い、事業整理損失引当金を戻し入れたことにより、126 百万円を特別利益として計上いたしました。

(3) 特別損失（固定資産の減損損失）の内容

当社が保有する固定資産のうち、主に共用資産の固定資産グループについて、当該資産から得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回ったことから、2025 年 9 月期において、99 百万円の減損損失を計上いたしました。

4. 業績に与える影響

上記の連結業績及び個別業績におけるそれぞれの営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失は、本日付にて公表の「2025 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上